

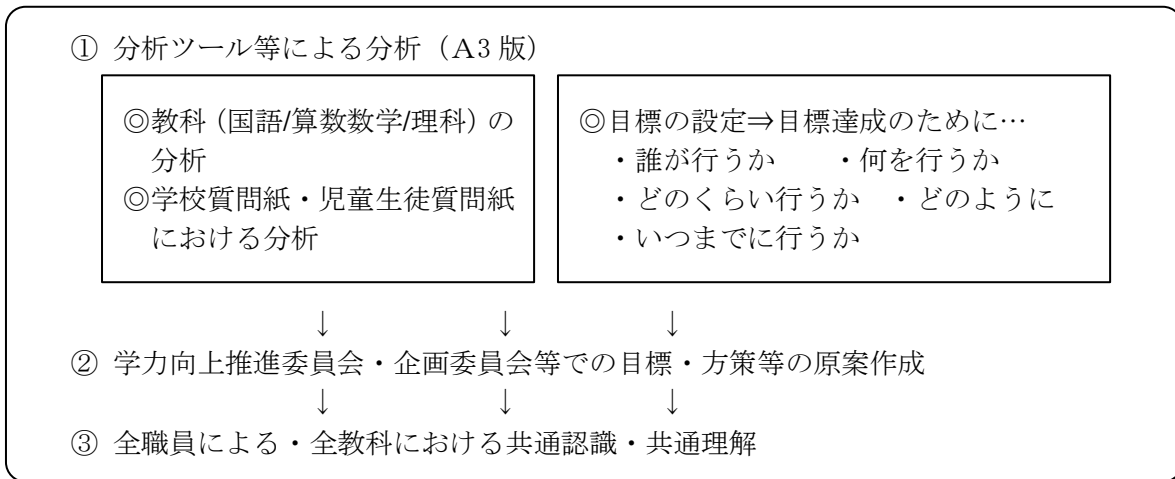


# 南房総の風

## 《全国学力・学習状況調査 分析ツールを用いた継続的な検証改善サイクルの一例》

今年度の全国学力・学習状況調査の結果は7月末にWebシステムで、8月末にCD-ROMで学校に提供されました。学校における調査の目的は「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること」「この取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること」にあります。今回、分析ツールを用いた継続的な検証改善サイクルの一例を紹介します。

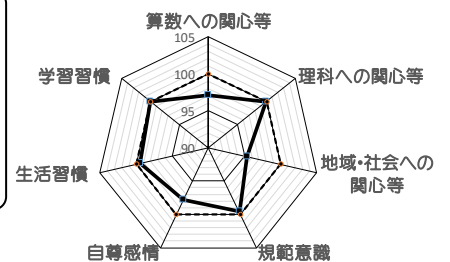
### Plan (計画)【～10月】



### Do (実行)【10月～】

- ① 国語・算数数学・理科に限らない全ての教科における実践  
・教員側の授業改善の取組 ・児童生徒側の取組 ・その他
- ② 学校の教育活動における実践  
・授業改善プラン ・児童生徒側の取組 ・その他
- ③ 保護者への情報提供・家庭における協力依頼

児童質問紙調査(例)



### Check (評価)【12月・3月】

- ① 学校独自のチェック用紙・アンケート用紙による進捗状況の確認・評価  
(教員・児童生徒・保護者)
- ② 学力向上推進委員会・企画委員会等での評価の分析→計画の見直し・改善

### Action (改善)【4月～9月】

- ① 見直し・改善された計画に関しての全職員による共通認識・共通理解
- ② 新年度職員・児童生徒・保護者での実践

★調査問題を対象学年・対象教科の先生方だけでなく全員でやってみることをお勧めします。目の前の児童・生徒にどんな学力が必要で、授業でどんな取組ができるかが見えてきます。